

# 情報教育の実践

守谷市立郷州小学校

## 1 情報スキルに関する取組

### (1) スタディノートを利用した情報の共有（6年）

国語の「ふるさとの良さをしょうかいしよう」の単元で、タブレット PC を利用して、グループのメンバー同士で、自分の作品を紹介する活動を行った。作品は、スタディノートの掲示板に送り、お互いに見合うことができるようにした。掲示板を利用して、データの共有を図ることで、お互いの作品の内容の確認が容易にでき、話し合いもスムーズにできた。

### (2) 検索エンジンを利用した情報の検索・収集（5年）

5年生の総合的な学習の時間では、「食について考えよう!」というテーマで学習する。特に米を育てる活動を行う。学習の初期に、育て方についての情報を収集するために、「Yahoo!キッズ」や「Yahoo!Japan」などの検索エンジンを利用して、情報収集を行った。いろいろなサイトの中から、本当に必要な情報を得ることの難しさを知るとともに、たくさんのキーワードを使うことで、それらの情報に近づくことができることも理解でき、その後の学習に生かすことができた。

## 2 情報モラルに関する取組

6年の総合的な学習の時間において、情報モラル学習を行った。ここでは、著作権について児童に考えさせるために、Web コンテンツ「ネット社会の歩き方」の中の学習ユニット「コピーしてもいいの?」を利用して授業を展開した。コンテンツは、スライド数枚で構成されており、それをさらに加工して、スタディノートに貼ることで、掲示板にアップし、タブレット PC でも閲覧できるようにして、児童と共有できるようにした。自分で操作しながら、内容を確認するのに役立つと考えたからである。また、著作権法違反事件について、教師が提示し、まとめを行うことで、さらに理解が深まったものとする。

## 3 本校独自の取組

昨年からは、本校のたてわり活動であるキッズ活動の一環として、1年生のスキルアップをめざし、6年生の児童が支援を行ってきた。キッズ活動に関わっている児童であり、親しみもあるので、1年児童も良く取り組むことができていた。コンピュータの起動の仕方や ID の入力などの仕方など、初歩をしっかりと指導できたことで、よりコンピュータに慣れ親しむことができるようになった。

## 4 成果と課題

今年度は、2学期からタブレット PC が各校に配置され、コンピュータに触れる機会が増えたため、多くの教師に、それらを活用しようという意識が高まりが見られた。そのため、機器の使用頻度も高まり、また、活用場面も多様化してきている。今後は、情報機器の利用の仕方、活用方法などについて、研修を通して、教師のスキルアップや情報の共有化を図っていきたい。

2月には、各教室に電子黒板が設置されたこともあり、今後は、さらにそれらの使用方法、活用法についての研修が必要と思われるので、年度当初から、計画的に行うとともに、それにあわせて児童のスキルもさらに高めていきたい。